



トヨタ パッソ ダイハツ ブーン

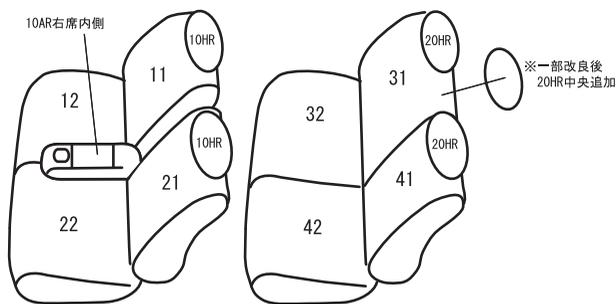
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

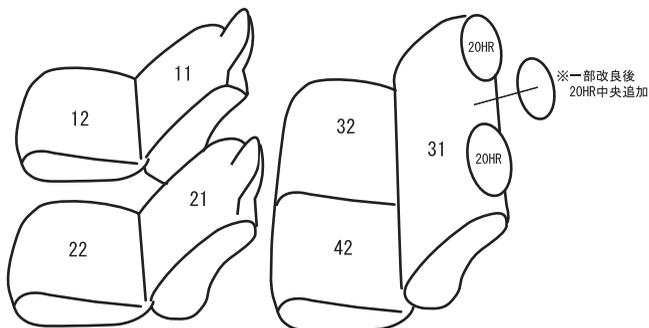
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1022/1023/1025

本製品シート形状とパーツの名称

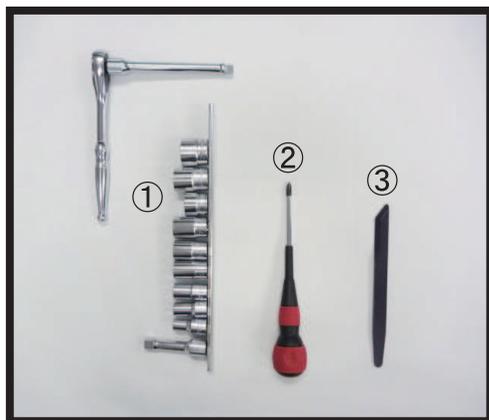


1 列目ベンチシート



1 列目セパレートシート

取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② +ドライバー
- ③ ヘラ (付属) ※ソケット14mm

* 1 列目セパレートシートの車は①の工具は必要ありません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

1 列目座面ベンチシート

*セパレートシートタイプは5ページからご覧下さい。



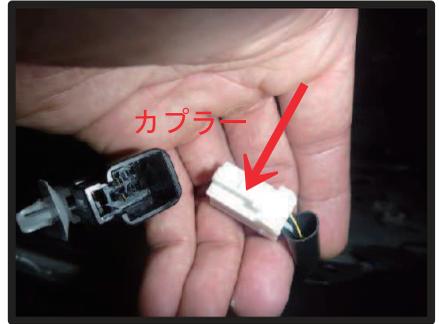
①始めにシートリフターのレバーを外します。ヘラ等を使用してプラスチックキャップを外します。



④シート裏の金属部分に引っ掛け固定されている配線を、シート裏から引き抜きます。



②ドライバーを使用してネジを2本外すとレバーが外れます。



⑤図の矢印位置を押すことでカプラー部分が外れます。カプラーを外すと配線からゴムが外れます。



③シート背面からシート裏まで覆っているカバーを外します。カバーはゴムで座面裏に引っ掛け固定されています。ゴムを外すにはシート裏の配線が交差しているため、配線を一度外す必要があります。



⑥助手席側はシートアンダートレイを固定している金属部品を外さないとゴムが外れません。金属部品はドライバーを使用して外します。



⑦シート背面下から、シートの裏まで覆っているカバーをゴムの引っ掛けを取り、外します。

※1ページの⑤、⑥で外した配線、金属部品を戻し忘れないように、ご注意ください。



⑩カバーの加工穴からシートリフターのダイヤル部分を取り出します。



⑧シートカバーをかぶせていきます。始めにリクライニングレバーの先端にカバーの加工穴を通して、生地伸びを利用して取り出します。



⑪シート全体にカバーをかぶせます。



⑨リクライニングレバーの軸に、生地を入れ込みます。



⑫背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。

1 列目座面 ベンチシート続き



⑬2ページの⑫で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑭カバー両側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑮アームレスト下部分のシートに、矢印方向へ引っ掛けるようにカバーをかぶせます。



⑯カバー側面の背面から出ているヒモを結び留めます。ヒモは始めに片方のヒモで輪を作ります。



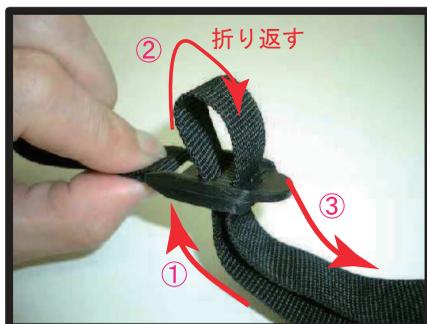
⑰⑬の生地と⑭の生地を端に付いているマジックテープで固定します。



⑱作った輪にもう片方のヒモを通し、シート下回りを絞って結び留めます。ヒモは強く引きすぎると切れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑱カバー前方に3本のベルトが付いています。



⑳バックルの固定は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫い目から切れる恐れがありますので、ご注意ください。



㉑ベルトはシート裏を通して、シート背面から引き出します。この際ベルトはスライドレバーの上を通すようにして下さい。



㉒シートベルトバックルが出ている隙間に生地を入れ込みます。



㉓ベルトを3ページの㉒で引き出した生地に付いているバックルと固定します。



㉔カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側は5ページ6ページのセパレートシートの取り付けを参考にして下さい。

1 列目座面 セパレートシート



① 1 ページの③④⑤を参考に配線を外し、図のシート背面下からシート裏まで覆っているカバーを外します。



④ シート内側のシートベルトバックルをかわしてカバーをかぶせます。



② シートカバーをかぶせていきます。始めにリクライニングレバーの先端からカバーの加工穴を通して、生地伸びを利用して取り出します。



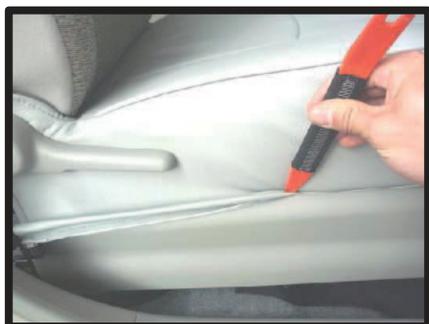
⑤ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



③ リクライニングレバーの軸に、生地を入れ込みます。



⑥ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦カバー両側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑩ベルトを5ページの⑥で引き出した生地が付いているバックルと固定します。



⑧カバー側面の背面から出ているヒモを結び留めます。

※ヒモの結び方は3ページの⑰⑱を参考にしてください。



⑪バックルの固定は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫い目から切れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑨カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通してシート背面から引き出します。この際ベルトはスライドレバーの上を通すようにして下さい。



⑫カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取付けます。

1 列目背もたれ ベンチシート

*セパレートシートタイプは9ページからご覧下さい。



- ①アームレストを外します。
ヘラ等を使用してプラスチックキャップを外します。



- ④2ページの⑦で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



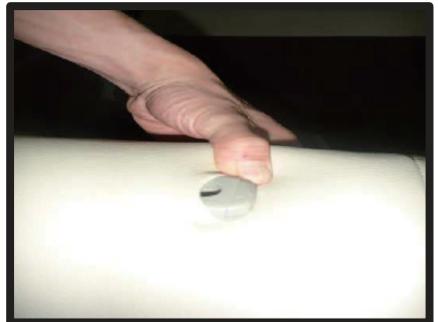
- ②ラatchetレンチ等を使用してボルトを外します。



- ⑤カバーをシートのラインからずれないように全体にかぶせます。



- ③シートカバーをかぶせていきます。
カバーを半分ほど裏返してかぶせませす。この際背もたれの肩口までしっかりとかぶせて下さい。



- ⑥ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座の片側に生地をしっかりと入れ込みます。



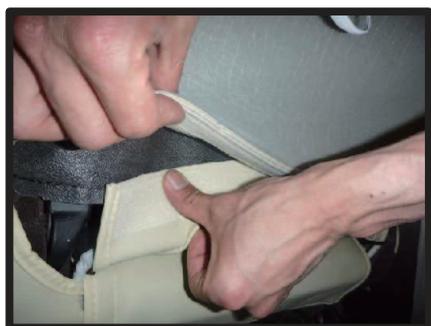
⑦生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑩入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワが無くなるまで続けて下さい。



⑪引き出した生地と、カバー背面のポケット裏の生地をマジックテープで固定します。

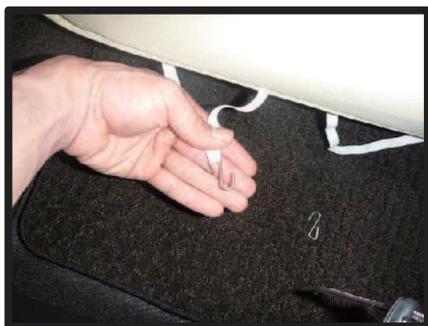


⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑫座面カバーから出ている生地を、背もたれカバーの付け根の隙間に入れ込みます。

1列目背もたれ ベンチシート続き



⑬シート背面下のカバーに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑭S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。
S字フックで固定するとシート背面下は図のようになります。



⑮カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

1列目背もたれ セパレートシート



①カバーを半分ほど裏返してかぶせませす。この際ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせて下さい。



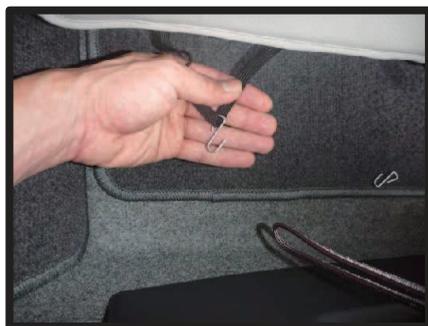
②5ページの①で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦ シート背面のカバーに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



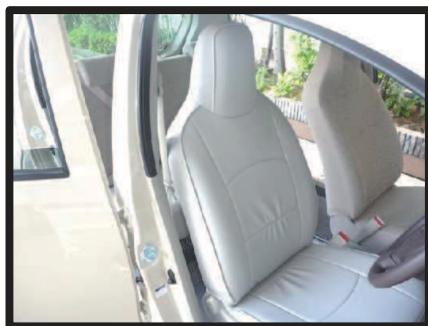
⑤ ①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワが無くなるまで続けて下さい。



⑧ S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。S字フックで固定するとシート背面下は図のようになります。



⑥ ④で引き出した生地と、カバー背面下のポケット裏の生地をマジックテープで固定します。



⑨ カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面

*ベンチシート・セパレートシート共通



①カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



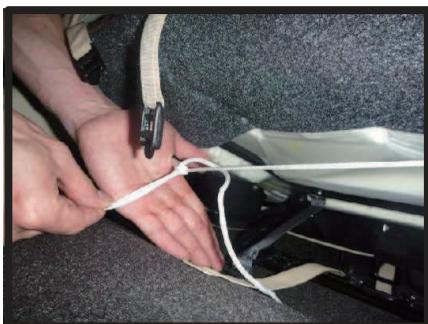
④カバー前側に付いているベルトをプラスチック部の内側へ入れ込みます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤シートを跳ね上げてカバー前後から出ているベルトをシート裏で固定します。



③シートを跳ね上げてカバー側面から出ているヒモを、シート裏で絞り込み結び留めます。



⑥カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部形状が違いますが、同様の固定方法で取り付けます。

2列目背もたれ

*一部改良前のベンチシート運転席側の図を使用していますが、取り付け方法は共通です。



①シートにゴムで固定されているシートベルトバックルを外します。



④ヘッドレストの台座を取り出します。



②カバー背面のファスナーを開きシートにかぶせます。始めにカバーの加工穴からシート固定金具を取り出します。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③生地を内へ寄せながらカバー背面のファスナーを慎重に閉じます。



⑥入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。

2列目背もたれ続き



- ⑦ 12ページの⑥で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



- ⑧ シートカバーに付いているゴムに最初に外したシートベルトバックルを固定します。



- ⑨ カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
ベンチシート助手席側、セパレートシートタイプの背もたれ形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

1列目ヘッドレスト

*ベンチシート用



- ① カバーを半分ほど裏返してヘッドレストにかぶせます。ヘッドレストの先端までしっかりと入れ込んで下さい。ヘッドレストは平らなプラスチック部材が付いている方が前側です。



- ② ヘッドレストのラインからずれないように、左右均等にカバーを引き下げて、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- ③ シートからヘッドレストを外して、ヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。

2列目ヘッドレスト

*ベンチシート、セパレートシート共通



④プラスチックフックの固定方法はカギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



①ヘッドレストの先端から矢印方向へかぶせていきます。
※図は一部改良前のモデルを使用しています。一部改良後のモデルは15ページからご覧下さい。



⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



②ヘッドレスト裏でプラスチックフックを固定すると図のようになります。



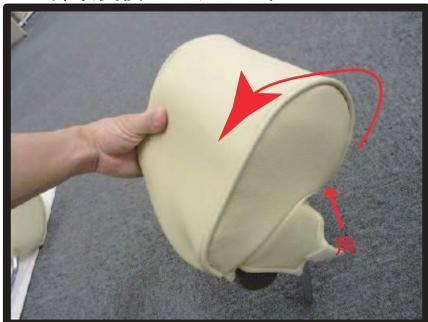
⑥ヘッドレストをシートに戻して、1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートに戻して、2列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト

*一部改良後のモデルです



①ヘッドレストの後ろ側の角に引っかけるようにして、矢印方向へかぶせていきます。



④2列目ヘッドレストの完成です。



②ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。



⑤2列目中央ヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



③1列目ヘッドレストと同様にブラックで固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。

1 列目アームレスト

*ベンチシート用



①ふたを開けるとネジがあります。ドライバーを使用しネジを外します。



④アームレスト先端の生地をめくり上げるように、アームレスト全体にかぶせます。カバー先端の両端に負荷がかかりやすいため、作業は慎重に行ってください



②ボックスを矢印方向へスライドさせるように引き抜きます。



⑤アームレスト全体にカバーをかぶせると図のようになります。



③アームレスト後ろ側からカバーをかぶせます。



⑥ボックスを元へ戻します。この際カバー両端の生地を巻き込んで戻しても良いのですが、ボックスを戻す作業が困難になるため、カバー両端の生地は外へ出したままにしておきます。

1 列目アームレスト続き



⑦ボックスが確実に固定されているのを確認してから、カバー両端の生地をアームレストとボックスのフチに入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業が行ないやすくなります。



⑩ボックスふた部分は図のようになります。



⑧両端の生地をアームレストとボックスのフチへ入れ込むと図のようになります。



⑪アームレストをシートへ戻します。最後にアームレスト背面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



⑨ボックスのふたにカバーのフックを生地と共に180度折り返して、ふたのフチに引っ掛けて固定します。固定した際に生地がふたの内側に来



⑫1 列目アームレストの完成です。
※ふたを開けた際、生地が浮いてしまいます。弊社のシートカバーの構造上避けられない部分ですので、予めご了承ください。

完成図 ベンチシート

※一部改良前のモデルです



1 列目

セパレートシート



1 列目



2 列目



2 列目



2 列目・フラットラゲージモード



2 列目・フラットラゲージモード



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

